

令和8年度 経営発達支援計画事業 報告書 [事業 NO.1]

小規模企業景気動向調査 第4四半期 (R8年1~3月)

①業種及び地域別景気動向

業 種		製造業		建設業	卸・小売業			サービス業		
		食料品 等	機械 金属		耐久消費 その他	食料品	外 食	旅館	理美容 その他	運輸
町 内	売上額	→☘	↘☘	↗☘	↗☘	↘☘	↘☘	↗☘	↘☘	→☘
	仕入単価	→☂	↗☘	→☂	↗☘	→☂	→☂	→☘	↗☘	→☂
	採 算	↗☘	→☘	↘☂	↘☂	↘☂	↘☂	↘☘	↗☘	↘☂
	資金繰り	↗☘	→☘	↘☘	↘☂	↘☘	↘☂	↘☘	→☘	↘☂
	業界の業況	↘☂	→☘	→☘	→☂	↘☘	↘☂	↘☘	↗☘	↗
北 信		→不変		↗改善	→不変		↘悪化	↘悪化		↘悪化
県 内		足踏み状態にある								
全 国※		↗-21.7		↘-15.6	↘-30.8		↘-26.8	↘-26.9	↘28.0	

(※ 景況 DI 値で表示、+値が大きいほど好調)

② 景気動向報道及び特記事項

《町内》

中東情勢の影響でシンナー等石油製品の品不足が深刻化している（塗装工事業）

原材料高により新築住宅の受注が鈍化している（一般建築業）

人手不足により求人に入れているが雇用出来ても長続きしない（製造業）

4月の消費税支払いのため資金繰りが厳しい（大工業）

《北信》

年末商戦までは好調であったが年明け急に動きが悪くなった（食料品製造）

案件が少なく、受注の取り合いになって単価が下がっているがコストは上がり続けている（鉄筋工事）

さまざまな物価の値上がりのせいでわからないが個人の注文額が下がっている（健康食品）

《県内》

有効求人倍率は横ばいで推移（1.26倍）

《全国》

産業全体：全産業に中東情勢の影響が広がり、採算・業況が大幅に悪化した

製 造 業：売上額がわずかに悪化し、収益の確保が厳しい

建 設 業：売上額・採算・資金繰りが悪化し。工期延長等の影響で、収益・資金面に課題が残る

小 売 業：売上額は持ち直すも、価格転嫁が十分に進まない

サービス業：売上額改善も、価格転嫁・需要面に課題が残る

参考資料：

長野信用金庫「長野しんきん北信経済動向“すかい”」・長野経済研究所「経済月報」・日銀「経済動向」

日本政策金融公庫「全国中小企業動向調査結果」・全国商工会連合会「小規模企業景気動向調査」